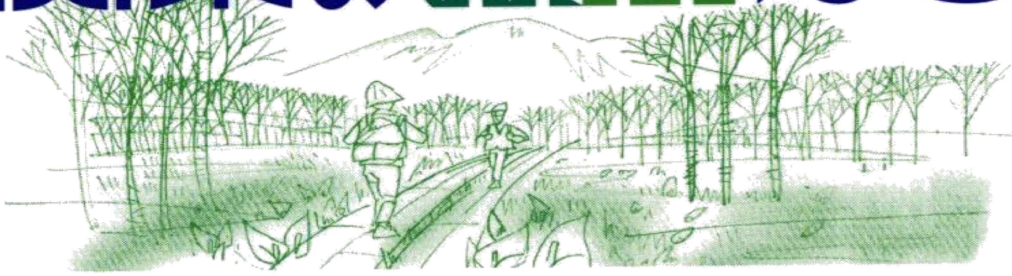


関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25

TEL.027-210-1158

<http://kokuyurin.maff.go.jp/kanto/>



「南アルプス」 (静岡県静岡市「リバウエル井川スキー場」より撮影)

(撮影：関東森林管理局 大井川治山センター)

- ◎ 治山・林道工事コンクール 治山課、森林整備課・・・2
- ◎ 第23回森林（もり）は友達！作文コンクール受賞者決定 東京事務所・・・4
- ◎ 赤谷の森から 赤谷森林ふれあい推進センター・・・6
- ◎ 森づくり最前線
中越森林管理署 倉俣森林事務所 前森林官 宮嶋沙織・・・8

「治山・林道工事コンクール」

治山課、森林整備課

治山・林道工事コンクールは、国有林野の公益的機能や森林・林業の成長産業化に貢献した治山工事及び林道工事で、他の模範となるものを表彰し、設計・施工技術の向上や関係者の意識高揚に資することを目的として、毎年度、実施しています。

令和元年度は、関東森林管理局管内において前年度に完成した治山工事及び林道工事の内、管内各署等から推薦のあった15件を対象に、学識経験者や林業家など3名の外部有識者を含む審査委員会を開催し、「コスト縮減」「技術提案」「環境配慮」のテーマ別に施工体制、施工状況、出来形、出来ばえ等に注目して審査を行い、特に優秀な4件の工事を林野庁に推薦しました。

その後、林野庁において最終的な審査が行われ、林道工事部門では、下越森林管理署の高地沢林業専用道新設工事が農林水産大臣賞、治山工事部門では、静岡森林管理署の北郷地区（角取山1）復旧治山工事と下越森林管理署村上支署の大栗田地区復旧治山工事の2件が林野庁長官賞を受賞しました。

農林水産大臣賞

テーマ：コスト縮減

工事名：高地沢林業専用道新設工事

署名：下越森林管理署

施工者：株式会社 巴山組



本工事では、現地地盤が想定より軟弱であり、路盤厚の決定に当たっては、現地発生材を活用できないことから、礫混じり購入土と置き換えを行ったことにより、施工性の向上や将来の維持管理を含めたライフサイクルコストの低減に繋がるとともに、施工中に発生した切土法面崩落箇所工事支障木を利用した丸太土留工及び土のう積工を行ったことにより低コストでの復旧が可能となりました。また、路肩の洗掘防止のため路面排水処理の工夫により、維持管理コストの縮減も図られていることや、林道を横断する登山ルートへの木製階段等の施工など木製構造物を効果的に使用し、公共事業における木材利用のPR効果を高めていること等が高く評価されました。

林野庁長官賞

テーマ：コスト縮減

工事名：北郷地区（角取山1）復旧治山工事

署名：静岡森林管理署

施工者：佐野藤建設 株式会社



本工事では、火山噴出物（スコリア）が堆積した箇所浸食を受けやすく、コンクリート構造物だけで施工すると、残土が多く発生することから、大型円柱状構造物（セルダム）で外壁には鋼矢板、内部には現地で発生した土砂を中詰する工法を採用することにより、残土の有効活用を図り区域外への残土運搬処理コストを縮減したことや、矢板を打ち込み方式としたことにより、大幅な工期の短縮が図られたこと等が評価されました。

林野庁長官賞

テーマ：技術提案

工事名：大栗田地区復旧治山工事

署名：下越森林管理署村上支署

施工者：株式会社 加藤組



本工事では、急峻な厳しい作業条件下で、施工性や安全性を考慮し、遠隔操作が可能な高所法面掘削機械を採用し法面の整形を行いました。また、モルタル吹付を長距離、高所へ上げて行う必要があったため、吹付材料を別々に圧送し吹付ノズル直前で材料混合するセパレートショット工法を採用することにより、安定した品質でモルタルを吹付ける高度な技術施工となっていることや、現場作業員の安全面での対応として斜面崩壊感知センサーの設置や、吹付のり面の勾配変化点に目印を設置する転倒防止対策の工夫を行ったこと等、総合的な技術工法において優位性があるとして評価されました。

以上の優秀工事3件は、2月19日に林野庁で開催された表彰式において本郷林野庁長官より表彰状の授与等が行われました。



農林水産大臣賞（株式会社 巴山組）

関東森林管理局では、先の優秀工事3件の施工技術担当者及び監督員と局審査会において優良な工事とされた12件の工事について、3月に関東森林管理局賞の表彰式を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から表彰式を中止としたところです。

なお、表彰対象者に対しては、各工事の発注者である各署長等から伝達表彰が行われました。

今後も、本コンクールの趣旨に則り、関係者間で創意工夫等を行い、優良な工事の実施に努めて参ります。



伝達表彰（吾妻署）の様子

関東森林管理局長賞受賞工事

Table with 5 columns: 事業別, テーマ, 実行署名, 工事名, 名称. It lists various forest management projects and their sponsors.



キノガサタケ



マクキノガサタケ



ウススキキノガサタケ

きのこの女王や妖精と呼ばれる美しいきのこの名前です。この名前です。キノガサタケの仲間です。キノガサタケは、7月上旬から8月上旬にかけて、竹林に単生から散生します。キノガサタケは、7月上旬から8月上旬にかけて、竹林に単生から散生します。キノガサタケは、7月上旬から8月上旬にかけて、竹林に単生から散生します。

きのこ特集



大井川は、南アルプスの3千級の山々に源を発し、静岡県に注ぐ大川です。源流部は、間岳、赤石岳等の名峰がそびえ、国立公園等に指定されるなど豊かな自然を誇っています。写真中央の山頂は上河内岳、右下は、井川湖畔の道路から上河内岳を望んだもので、手前は、全長258mの井川大橋、左下は、井川ダム周辺を望んだものです。「2月28日撮影」

今月の表紙

「南アルプス」静岡県静岡市「リパウエル井川スキー場」より撮影

第23回森林(もり)は友達!作文コンクール受賞者決定

東京事務所

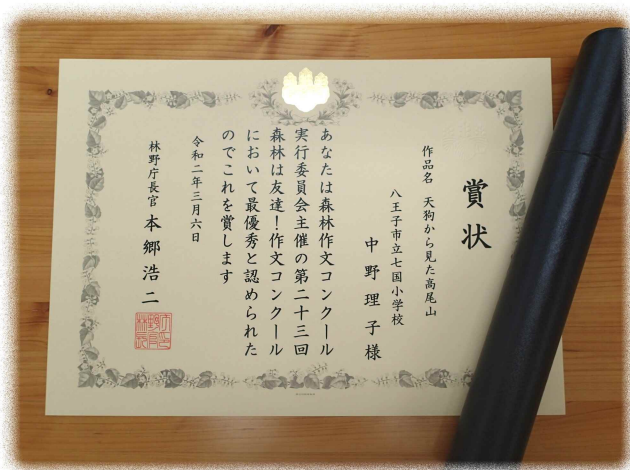
今年度の「森林は友達!作文コンクール」は、23の学校等(ガールスカウトの団体1つを含む)から1,793名の応募があり、令和2年2月4日に東京事務所が開かれた審査委員会により最優秀賞等の受賞者30名が決定しました。3月6日に都内で表彰式を予定していましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

このコンクールは平成9年から開催され、関東森林管理局のち茨城県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県及び静岡県に在する森林管理署、森林管理事務所及び高尾森林ふれあい推進センターが行った森林教室等に参加した小学4〜6年生を対象に、体験を通じて感じたことを、自ら作文にすることによって森林林業に対する理解や関心を高め、また、作文コンクール「森林(もり)は友達!」の開催を目的として、東京事務所が毎年行っているコンクールです。

最優秀賞の林野庁長官賞は、八王子市立七国小学校五年生の中野理子さんが受賞しました。「天狗から見た高尾山」と題し、高尾山での宿泊体験学習での活動から学んだことを、天狗の視点に置き換えて、的確に表現した作文となつています。そのほか、自分の家が山梨の木で出来ていて綴った作文や森林教室で経験した貴重な体験を元に自分なりの



学校で最優秀賞の表彰を受ける七国小の中野理子さん



が出来るかを自らの言葉で表している作品などが選ばれました。惜しくも受賞を逃した生徒さん達の作文も、森林で体験し深く感動したことが書かれていて、そのなど甲乙付けがたい作品ばかりでした。

例年表彰式では最優秀賞を取った生徒さん自身で作文の朗読をしてもらうのですが、今年はお出ませんので、東京事務所のホームページに最優秀賞の作文を載せています。是非ご覧ください。

各賞受賞者にお送りした東京事務所長作成のツキ板のしおりと資料「木について」、参加賞として参加者全員に配った木製温度計



表彰式参加予定だった各賞を受賞された生徒さんには、賞状や副賞のほか、東京事務所長(次長)作成のツキ板のしおりと「木について」の資料、協賛をしてもらったもりかみ協議会からのカート缶などを郵送し、それぞれの各学校(団体)で祝ってもらいました。令和2年度も募集する予定ですが、今回は表彰式を開催出来るといいなと思っ

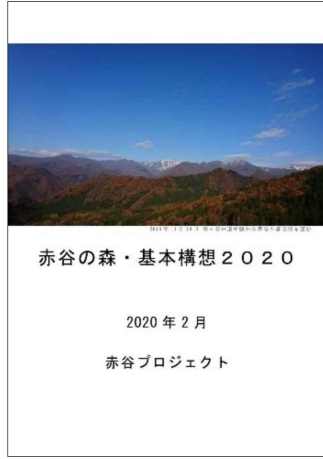


【近況トピックス】

1 「赤谷の森・基本構想2020」

の策定

三国山地／赤谷川・生物多様性復元計画（赤谷プロジェクト）のマスタープランである「赤谷の森・基本構想2020」が2020年2月17日の赤谷プロジェクト企画運営会議にて決定されました。



赤谷の森・基本構想2020

赤谷プロジェクトは、群馬県北西部に位置する国有林「赤谷の森」100,000haを舞台として、赤谷プロジェクト地域協議会、(公財)日本自然保護協会、関東森林管理局の3者が協働し、「生物多様性の復元」と「持続的な地域づくり」に実践的に取り組んできました。今後もさらに人と自然との新たな関係づくりの取組の波及を目指し、2015年以降に得られた知見と

関係者の意見を踏まえ、現行の基本構想を改定し、今後5年間のマスタープランである「赤谷の森・基本構想2020」を策定したものです。

詳しくはホームページに載っておりますのでアクセスしてください。

※https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/_/akayanomori-kihonkousou2020.html

2 令和元年度 森林・林業等技術交流発表会

令和2年2月13～14日に行われた森林・林業等技術交流発表会で赤谷センターから発表した「成熟した人工林の伐採によるイヌワシの狩り場の創出実験」で優秀賞を頂きました。(発表者：松井琢郎、共同発表者：出島誠一)。これも長きにわたる関係者の努力と感謝いたします。

今後も新たな狩り場の創出など更なる知見を得るために努力していきます。



発表会の様子

3 赤谷の森自然散策(冬)

令和2年2月8日に赤谷の森自然散策(冬)を行いました。毎年季節毎に4回、みなかみ町との共催で実施しているイベントの「冬」版です。豪雪地域のみなかみ町にはスキー場が9つあり、毎年雪には事欠かないはずなのですが、今年は全国的に雪不足だと各地で報道されているように赤谷の森もご多分に漏れず雪がない。そうしたところ、開催の4日前になってようやくまとまった積雪があり、参加者(23名)が楽しみにしているスノーシューの散策がなんとかできました。

場所は赤谷プロジェクトの活動拠点として使われているいきもの村。雪原をサクサクと歩いてみると、ウサギやカモシカの足跡、葉が落ちたでできる葉痕が羊顔のオニグルミとか、クマが木の実や若葉を食べるのに樹上の枝を折っ



コースにある雪の滑り台



雪原の広場で記念撮影

てできるクマ棚、つぶらな瞳をしたアナグマの巣穴など、民家近くにあるこの場所の環境でもたくさんの生き物が身近に感じられて、青空のもと2時間程度の散策を楽しんでいただきました。午後の部は会場を、「民話と紙芝居の家」に移動して、三国街道の宿場町として栄えた猿ヶ京の民話を久留島武彦文学賞受賞者で館長の持谷靖子さんと、ここで民話を習っている子ども達「こでまり」のメンバーが歴史情緒たつぷりに時にユーモアを交えて語ってくれました。紙芝居は地元沼田放送局EMONEにレギュラー出演している宮崎りえ子さんが、日本における自然保護運動幕開けの物語「いわつばめとおぜのおじさん」を披露しました。今年のは例年にならぬ暖冬でし



民話を語る館長の持谷靖子さん

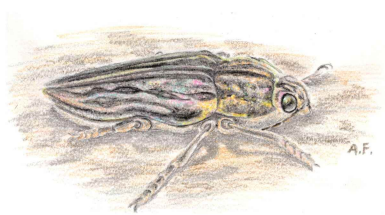


宮崎りえ子さんが演ずる「いわつばめとおぜのおじさん」

たが、それでも運良く直前に降雪があり雪景色の中で開催することが出来ました。スノーシューが初体験で楽しみにしていた参加者が多かったので、主催者側としてほっと胸を撫で下ろしています。

これからも赤谷の森でそれぞれの四季の情景を楽しんでいただければ、職員一同皆様をお待ちしております。

最後に新型コロナウイルスが世界各地で猛威を振るっており、春の甲子園大会ほか色々な競技・イベントが中止になるなど想像以上に影響がでております。赤谷センターでも3月、4月の赤谷の日を中止にしました。今後のイベントも検討が必要だと考えています。今個人で実践できる、マスク、手洗い、うがいなどを心がけ、健康には十分に注意して行動していきたいと思えます。



ウバタマムシ(蛸玉虫) 約3.5cm。玉虫色ではない、洗った目の玉虫。驚くとすぐ死んだつりをするので捕まえずし。

2020年度赤谷の森自然散策 開催予定のお知らせ(案)

開催日	コース	内容	イベントの様子
2020.5.16 (土)	旧三国街道 新湯側 群馬側三坂線	春の香りを堪能しながら、コシノウやシバフツなどの春の花を鑑賞しながら散策します。新湯の湯、湯ヶ原温泉に近く、花々の見頃や桜の散見も楽しめます。	
2020.8.2 (日)	ムタコ沢林道 赤沢スキー場	涼しいムタコ沢の清流沿いの林道を、夏草やアサギなど、夏の自然を満喫します。午後には、赤谷の森で自然散策を行います。	
2020.10.24 (土)	旧三国街道 群馬側三坂線 新湯側	秋の彩りを楽しみながら、コシノウやシバフツなどの秋の花を鑑賞しながら散策します。新湯の湯、湯ヶ原温泉に近く、花々の見頃や桜の散見も楽しめます。	
2021.2.11 (木・祝日)	いきもの村 (民話体験)	スノーシューを履いて、雪の上を歩ける体験や、雪の自然を満喫します。雪の上には、雪の自然を満喫します。雪の上には、雪の自然を満喫します。	

※開催予定は、新型コロナウイルスの感染状況により変更される場合があります。

「赤谷の森」自然散策 開催予定のお知らせ (春夏秋冬の年4回開催)

みなかみ町と赤谷森林ふれあい推進センターは、「みなかみユネスコエコパーク」でもある「赤谷の森」の自然や環境のことを学べる機会として、赤谷の森自然散策を開催します。

2020年度は、春夏秋冬の年4回「赤谷の森自然散策」を開催します。各自然散策イベントの開催案内は、決まりしだい「イベント情報」でお知らせ致します。参加申込につきましては、各回の開催案内によりお申込してください。(開催案内前の予約受付できませんこと申し添えます。) たくさんの方のご参加をお待ちしております。

「赤谷の森」の紹介

「赤谷の森」は、群馬県みなかみ町北部、新潟県との県境に広がる、約1万ヘクタール(10km四方)の国有林です。森の入口から主稜線までの標高差はおよそ1,400mあり、周囲を囲む岩峰と奥山に広がるブナ、ミズナラ、トチノキ等の自然林、標高の低い地域にはスギなどの人工林や、かつて薪炭林だったコナラ林が広がります。自然環境が変化に富み、生態系も豊かです。希少種であるイヌワシ、クマタカ、ツキノワグマなどの生息地にもなっています。また、利根川の上流域にある赤谷の森は、地域の重要な水源の森であると同時に、首都圏の水源にもなっています。

2020年度の日程

第1回 赤谷の森自然散策(春) 2020年5月16日(土曜日) 予定コース「旧三国街道 新湯側入口」群馬側三坂線入口

第2回 赤谷の森自然散策(夏) 2020年8月2日(日曜日) 予定コース「ムタコ沢(溪流沿いの林道)」

※中学生以下(小学生以下は保護者同伴) ↓「赤沢スキー場ロッジ」

第3回 赤谷の森自然散策(秋) 2020年10月24日(土曜日) 予定コース「旧三国街道 群馬側三坂線入口」新湯側入口

第4回 赤谷の森自然散策(冬) 2021年2月11日(木曜日・祝日) 予定コース「いきもの村周辺(スノーシュー体験)」

↓「民話と紙芝居の家(民話、紙芝居)」

また、「赤谷の森」は、平成29年6月14日に登録された「みなかみユネスコエコパーク(MINAKAMI Biosphere Reserve)」の緩衝地域になっています。「みなかみBR」って呼んでくださいいね!!

森づくり最前線

中越森林管理署 倉俣森林事務所
前森林官 宮嶋沙織

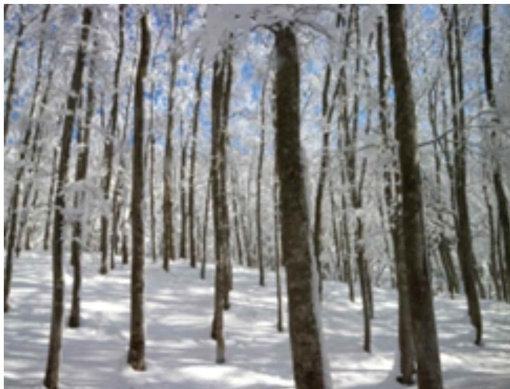
倉俣森林事務所は新潟県十日町市、津南町に広がる9,758haの国有林を担当しています。担当区内にはスギ人工林がありますが、ブナを中心とする落葉広葉樹林が多くを占めています。

十日町市、津南町は日本の積雪記録のある豪雪地帯で、今冬のような稀にみる小雪時でも、山間地にある国有林は春まで雪に閉ざされてしまいます。

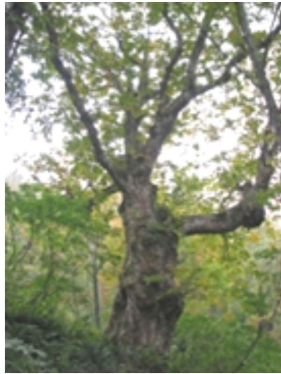
担当区内の人工林の特徴は、この雪の影響を受けた『根曲がりスギ』が多いことです。根曲がりスギは毎年の雪の重みに抵抗するために、一番太い材がとれる根元部分が大きく曲がって育っているため、通常の製材機で製材することや、垂直な柱として使用することができず、根元から上2m程度を切り捨てることもありません。しかし、地元の木造軸組工法の大工さんに「雪に耐えて育っているこの地域の材は、建材として使われたときは積雪の重みに耐える粘りがある」と教えて頂き、木材の地産地消が効率やエコのた

めだけではなく、昔からの実利になつたものなのだと気づかされたことがあります。

垂直なスギの成長には不利な担当区内ですが、広葉樹の生育に適しており、「森の巨人たち百選」に選ばれている「見倉の大トチ」とその周辺のトチ林や、十日町市の「美人林」に勝るとも劣らぬ美しいブナ林が国有林内にもたくさんあり、目の保養になる現場が広がっています。



美人林



見倉の大トチ
◎津南町地域振興課

また、小松原湿原や苗場山の西側ルート、当間山など、登山者が少ないおかげで絶景を独り占めできる登山道があります。

担当区内にある部分林の一つに、十日町市立水沢中学校の学校林があります。この学校林は昭和31年の植栽以来、約15haのスギ林の手入れを中学校OBの指導のもとで生徒が行っています。中にはおじいさんが植栽し、今はお孫さんが同じ林の手入れしているご家庭もあり、長い年月、世代を経て地域の方々に大切にされています。作業や打ち合わせに森林官として参加することは、先生方の熱心さや地



小松原湿原 ◎津南町地域振興課

域の方達の国有林に対する愛着を直接感じる事ができるよい機会になっています。

雪のために苦勞することもありますが、雪風景やスノーレジャー等、雪があるからこそできる経験もあります。今後とも周囲の方々に大切にされる国有林・信頼される国有林職員になれるよう、楽しみながら精進したいと思います。



学校林の作業風景
◎十日町市立水沢中学校

発行所 関東森林管理局
編集総務課
TEL (027) 210-1158
FAX (027) 260-1363